



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

上場会社名 株式会社NSD
 コード番号 9759 URL <https://www.nsd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 今城 義和
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員コーポレートセクレタリー本部長 (氏名) 鯛 真輔 (TEL) 03-3257-1250
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

2026年1月30日
 上場取引所 東

(百万円未満切捨て)
 1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2026年3月期第3四半期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	86,849	9.2	13,890	14.0	14,103	13.9	9,033	11.7
2025年3月期第3四半期	79,497	5.7	12,186	9.5	12,379	9.7	8,089	11.9

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 9,093百万円(-13.4%) 2025年3月期第3四半期 8,021百万円(-5.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
2026年3月期第3四半期	円 銭 118.20	円 銭 —
2025年3月期第3四半期	105.22	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年3月期第3四半期	百万円 90,748	百万円 69,517	% 75.5
2025年3月期	90,485	68,252	74.5

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 68,533百万円 2025年3月期 67,416百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末		
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 87.00	円 銭 87.00	
2026年3月期	—	0.00	—	—	—	
2026年3月期(予想)				94.00	94.00	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
通期	百万円 117,200	% 8.7	百万円 18,400	% 9.2	百万円 18,600	% 9.2	百万円 12,700	% 7.7

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期 3Q	86,000,000株	2025年3月期	86,000,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期 3Q	9,885,141株	2025年3月期	9,535,723株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期 3Q	76,428,477株	2025年3月期 3Q	76,883,192株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

・四半期決算補足説明資料は、2026年1月30日（金）に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等の注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(収益認識関係)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

【環境認識】

当第3四半期連結累計期間における我が国経済につきましては、物価上昇や日銀の利上げなど金融資本市場の変動等の影響、米国の通商政策の動向等の不確定要素もありましたが、国内景気は雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかな回復基調で推移しました。

このようななか、当社グループが属する情報サービス産業につきましては、堅調な企業業績に支えられ、引き続き経営課題の解決に向けたDXや生成AIの活用を目的にIT投資が進むとともに、基幹システムの刷新ニーズ等もあり、受注環境は良好に推移しました。

【当第3四半期連結累計期間の取り組み】

当社グループは、5ヵ年の中期経営計画において、2026年3月期までに連結売上高1,000億円を超える企業グループを目指に掲げ、DX領域への対応強化やM&Aを活用した業績拡大を進めてきました。この結果、2024年3月期において2年前倒しで当該目標を達成し、中期経営計画の最終年度である当第3四半期においても、戦略として掲げた施策を着実に実行し、一層の業績拡大を推進すべくさまざまな取り組みを進めています。

システム開発事業につきましては、新技術を利用した社会的ニーズの強いDX関連のシステム開発事業を成長ドライバーに、持続的な拡大を進めています。新技術に関する取り組みの例として、工場などにおける「化学物質の特定及び使用量把握」についてAIを活用した独自のアルゴリズム等を用いてシステム化を実現しました。また、製造業における生産計画立案の自動化や、倉庫・物流業における最適な棚配置のアルゴリズム化等、さまざまな業種において事業に直結する経営課題解決に向けたDXへの取り組みを支援しています。

ソリューション事業につきましては、第2の収益の柱とするため、市場ニーズを捉えた課題解決型ソリューションの創出と販売力の強化に取り組んでいます。特に生成AIの活用に注力しており、オンプレミスなどの自社専用環境で利用可能な業務効率化ソリューションとして、プライベート生成AIプラットフォーム「BizInsight」を開発し、提供しています。

株式会社日立製作所との業務提携につきましては、DXや生成AI等の技術進展への対応に加え、同社との人材交流や海外グループ会社の活用を通じ、より付加価値のあるサービス提供を行うべく、具体的な施策を進めています。

【当第3四半期連結累計期間の実績】

当第3四半期連結累計期間の実績につきましては、受注環境が良好に推移したことから、以下のとおりとなりました。

単位：百万円

	2025年3月期 第3四半期	2026年3月期 第3四半期	前年同期比	
システム開発事業	68,283	74,067	5,783	8.5%
ソリューション事業	11,213	12,782	1,569	14.0%
売上高	79,497	86,849	7,352	9.2%
DAS事業	36,517	41,600	5,082	13.9%
うち DX・AI等新技術関連	25,304	28,818	3,513	13.9%
営業利益	12,186	13,890	1,703	14.0%
経常利益	12,379	14,103	1,724	13.9%
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,089	9,033	944	11.7%
E B I T D A	14,168	15,774	1,606	11.3%
E B I T D Aマージン	17.8%	18.2%	0.3ポイント	—

※ DAS事業とは、当社グループの注力事業で、DXを目的としたシステム開発事業、AI等の新技術を活用したシステム開発事業、及びソリューション事業をいいます。

※ E B I T D Aは「営業利益+減価償却費+のれん償却額」により算出しています。

売上高につきましては、システム開発事業で、金融ＩＴの受注が引き続き高水準で推移したことや、産業ＩＴが大きく伸長したことに加え、ソリューション事業で、セキュリティ製品等の受注が大きく伸長した結果、前年同期比9.2%増収の86,849百万円となりました。このうち注力分野であるD A S事業につきましては、クラウドを利用したD X関連のシステム開発事業が伸長し、前年同期比13.9%増収の41,600百万円となりました。営業利益は、システム開発事業が堅調に推移したことに加え、ソリューション事業における増収効果により、前年同期比14.0%増益の13,890百万円となりました。以上の結果、経常利益は前年同期比13.9%増益の14,103百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比11.7%増益の9,033百万円となりました。

【セグメント別の実績】

セグメント別の実績は以下のとおりとなりました。

(セグメント別売上高)

単位：百万円

		2025年3月期 第3四半期	2026年3月期 第3四半期	前年同期比	
システム 開発事業	金融ＩＴ	24,142	25,817	1,674	6.9%
	産業ＩＴ	18,885	21,106	2,220	11.8%
	社会基盤ＩＴ	16,456	17,872	1,415	8.6%
	I Tインフラ	9,185	9,823	637	6.9%
ソリューション事業		11,222	12,791	1,568	14.0%
調整額		△396	△560	△164	—
合 計		79,497	86,849	7,352	9.2%

(セグメント別営業利益)

単位：百万円

		2025年3月期 第3四半期	2026年3月期 第3四半期	前年同期比	
システム 開発事業	金融ＩＴ	4,750	5,070	319	6.7%
	産業ＩＴ	2,645	3,265	620	23.5%
	社会基盤ＩＴ	3,270	3,415	145	4.5%
	I Tインフラ	1,664	1,752	88	5.3%
ソリューション事業		365	873	508	139.1%
調整額		△508	△487	21	—
合 計		12,186	13,890	1,703	14.0%

※ セグメント間の内部取引を含んだ計数を記載しています。

※ 調整額とは、セグメント間取引消去額及び全社費用（セグメントに帰属しない一般管理費等）をいいます。

<システム開発事業（金融ＩＴ）>

金融向けソフトウェア開発事業につきましては、保険会社では大型プロジェクトの収束があったものの、基幹システムの更改案件をはじめ既存案件の拡大により大手銀行が大きく伸長したことから、売上高は前年同期比6.9%増収の25,817百万円となり、営業利益は6.7%増益の5,070百万円となりました。

<システム開発事業（産業ＩＴ）>

産業向けソフトウェア開発事業につきましては、自動車関連の製造業の受注が順調に推移したこと等により、売上高は前年同期比11.8%増収の21,106百万円となり、営業利益は利益率の改善等により23.5%増益の3,265百万円となりました。

<システム開発事業（社会基盤ＩＴ）>

社会基盤向けソフトウェア開発事業につきましては、通信業及び鉄道や航空関連の運輸業を中心に、公共団体、電気・ガス・水道業からの受注も順調に推移したことから、売上高は前年同期比8.6%増収の17,872百万円となり、営業利益は一部採算性の低いプロジェクトの影響もあり、4.5%増益の3,415百万円にとどまりました。

<システム開発事業（ITインフラ）>

ITインフラ事業につきましては、銀行等の金融業や公共団体を中心に、各業種においてインフラ構築案件等の受注が堅調に推移したことにより、売上高は前年同期比6.9%増収の9,823百万円となりました。営業利益は、子会社における主要プロジェクトの延伸等により、前年同期比5.3%増益の1,752百万円となりました。

<ソリューション事業>

ソリューション事業につきましては、公共団体等でのセキュリティ強化に対するニーズ拡大によりセキュリティが大きく伸長したことに加え、株主優待サービス等が堅調に推移したことにより、売上高は前年同期比14.0%増収の12,791百万円となり、営業利益は508百万円増益の873百万円となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金の増加2,711百万円、受取手形、売掛金及び契約資産の減少1,850百万円、のれんの減少981百万円などから前連結会計年度末比263百万円増加し、90,748百万円となりました。

負債は、賞与引当金の増加1,019百万円、未払法人税等の減少1,219百万円、短期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）の減少449百万円、長期借入金の減少272百万円などから前連結会計年度末比1,002百万円減少し、21,231百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益による増加9,033百万円、配当金支払いによる減少6,652百万円、自己株式の取得などによる減少1,312百万円などから前連結会計年度末比1,265百万円増加し、69,517百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、受注環境が良好に推移したこと等から、売上高・利益とも計画を上回る実績となりました。当第3四半期連結累計期間の業績や足下の受注状況を勘案し、通期連結業績予想を以下の通り修正します。

(2026年3月期通期連結業績予想)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 115,500	百万円 17,800	百万円 18,000	百万円 12,400	円 銭 162.56
今回修正予想 (B)	117,200	18,400	18,600	12,700	166.43
増減額 (B-A)	1,700	600	600	300	—
増減率	1.5%	3.4%	3.3%	2.4%	—
(ご参考) 2025年3月期実績	107,791	16,849	17,038	11,795	153.61

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流动資産		
現金及び預金	27,358	30,069
受取手形、売掛金及び契約資産	22,783	20,933
有価証券	3,000	3,000
商品及び製品	430	534
仕掛品	5	22
原材料及び貯蔵品	187	166
その他	734	1,010
貸倒引当金	△66	△63
流动資産合計	54,432	55,673
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,931	1,851
土地	2,598	2,592
その他（純額）	778	847
有形固定資産合計	5,308	5,291
無形固定資産		
のれん	9,500	8,519
顧客関連資産	7,791	7,467
その他	1,111	1,190
無形固定資産合計	18,404	17,177
投資その他の資産		
投資有価証券	1,785	1,869
退職給付に係る資産	8,307	8,463
その他	2,248	2,275
貸倒引当金	△1	△2
投資その他の資産合計	12,340	12,606
固定資産合計	36,052	35,075
資産合計	90,485	90,748

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	—	5,194
買掛金	5,381	—
短期借入金	400	—
1年内返済予定の長期借入金	305	255
未払法人税等	3,512	2,293
賞与引当金	566	1,586
役員賞与引当金	—	62
株主優待引当金	68	85
受注損失引当金	15	1
その他	4,475	4,295
流動負債合計	14,725	13,775
固定負債		
長期借入金	1,152	880
退職給付に係る負債	1,488	1,644
その他	4,866	4,930
固定負債合計	7,507	7,455
負債合計	22,233	21,231
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,205	7,205
資本剰余金	6,811	6,898
利益剰余金	62,655	65,036
自己株式	△13,386	△14,698
株主資本合計	63,286	64,441
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	590	660
土地再評価差額金	△8	△8
為替換算調整勘定	504	567
退職給付に係る調整累計額	3,043	2,872
その他の包括利益累計額合計	4,129	4,091
非支配株主持分	836	984
純資産合計	68,252	69,517
負債純資産合計	90,485	90,748

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

	(単位：百万円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	79,497	86,849
売上原価	59,208	64,979
売上総利益	20,288	21,870
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	2,628	2,664
賞与引当金繰入額	122	151
役員賞与引当金繰入額	67	62
退職給付費用	66	55
福利厚生費	769	719
賃借料	498	545
減価償却費	494	521
研究開発費	352	274
のれん償却額	1,110	984
株主優待引当金繰入額	36	36
その他	1,955	1,964
販売費及び一般管理費合計	8,102	7,979
営業利益	12,186	13,890
営業外収益		
受取利息	15	54
受取配当金	35	38
保険配当金	105	98
受取保険金	30	-
その他	68	69
営業外収益合計	255	261
営業外費用		
支払利息	19	16
為替差損	3	18
事務所移転費用	32	-
その他	8	13
営業外費用合計	63	48
経常利益	12,379	14,103
特別利益		
投資有価証券売却益	49	66
その他	-	12
特別利益合計	49	79
特別損失		
減損損失	8	215
その他	-	7
特別損失合計	8	223
税金等調整前四半期純利益	12,420	13,959
法人税等	4,251	4,834
四半期純利益	8,169	9,124
非支配株主に帰属する四半期純利益	79	91
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,089	9,033

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	8,169	9,124
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△106	70
為替換算調整勘定	60	69
退職給付に係る調整額	△101	△171
その他の包括利益合計	△147	△31
四半期包括利益	8,021	9,093
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,936	8,995
非支配株主に係る四半期包括利益	85	98

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用につきましては、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

また、一部の子会社につきましては、前連結会計年度の実際実効税率を用いて計算をしております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2		
	システム開発事業				ソリューション事業				
	金融 I T	産業 I T	社会基盤 I T	I Tインフラ					
売上高									
外部顧客への売上高	24,142	18,581	16,423	9,135	11,213	79,497	—		
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	304	32	49	9	396	△396		
計	24,142	18,885	16,456	9,185	11,222	79,893	△396		
セグメント利益	4,750	2,645	3,270	1,664	365	12,695	△508		
							12,186		

(注) 1. セグメント利益の調整額△508百万円は、全社費用です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

第1四半期連結会計期間に株式会社アートホールディングスの株式を追加取得しております。当該事象によるのれんの増加額は、システム開発事業（金融 I T）254百万円、システム開発事業（産業 I T）187百万円、システム開発事業（社会基盤 I T）20百万円、システム開発事業（I Tインフラ）11百万円、ソリューション事業98百万円です。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2		
	システム開発事業				ソリューション事業				
	金融 I T	産業 I T	社会基盤 I T	I Tインフラ					
売上高									
外部顧客への売上高	25,817	20,680	17,810	9,758	12,782	86,849	—		
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	425	61	65	9	560	△560		
計	25,817	21,106	17,872	9,823	12,791	87,410	△560		
セグメント利益	5,070	3,265	3,415	1,752	873	14,378	△487		
							13,890		

(注) 1. セグメント利益の調整額△487百万円は、全社費用です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
 (のれんの金額の重要な変動)
 該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む)及びのれんの償却額は、次のとおりです。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	871百万円	898百万円
のれんの償却額	1,110百万円	984百万円

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				ソリューション事業	合計		
	システム開発事業							
	金融 I T	産業 I T	社会基盤 I T	I Tインフラ				
システム開発	23,690	17,601	15,898	7,510	—	64,700		
保守・運用	—	156	88	906	—	1,151		
その他	452	823	437	718	—	2,432		
サービス	—	—	—	—	8,825	8,825		
プロダクト	—	—	—	—	2,387	2,387		
顧客との契約から生じる収益	24,142	18,581	16,423	9,135	11,213	79,497		
外部顧客への売上高	24,142	18,581	16,423	9,135	11,213	79,497		

当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				ソリューション事業	合計		
	システム開発事業							
	金融 I T	産業 I T	社会基盤 I T	I Tインフラ				
システム開発	25,126	19,778	17,391	8,201	—	70,498		
保守・運用	1	165	94	865	—	1,127		
その他	688	737	324	691	—	2,441		
サービス	—	—	—	—	9,273	9,273		
プロダクト	—	—	—	—	3,509	3,509		
顧客との契約から生じる収益	25,817	20,680	17,810	9,758	12,782	86,849		
外部顧客への売上高	25,817	20,680	17,810	9,758	12,782	86,849		